

デジタル時代の知識・文化が結集する貴重な資産であるものの、日々、消去が発生するウェブ情報について、アーカイブ化や利活用を促進するための技術・仕組みの構築・実証を実施する。

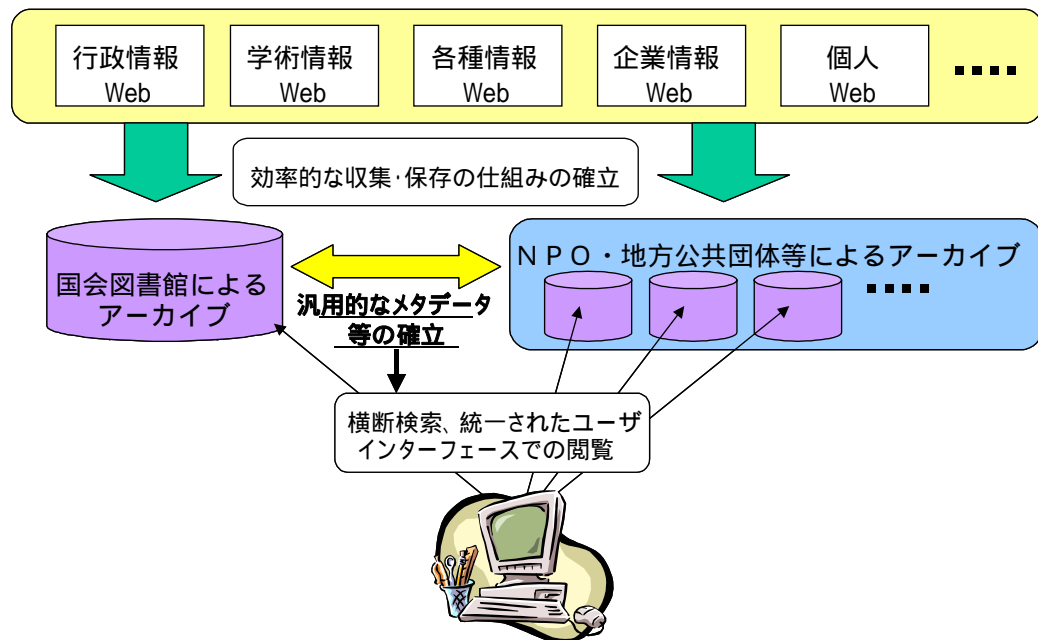
施策の目的

ウェブ情報を定期的に収集し、時系列に提供するためには、URLや収集日等の情報をメタデータ化するなどウェブ情報を構造化して蓄積するとともに、それらの情報に基づく検索・閲覧等を可能とする必要がある。さらに、今後、地方公共団体やNPO等の様々な主体によるウェブ情報のアーカイブの構築が期待されることから、これらの標準的な技術・仕組みの構築が必要。

実証実験での検証内容

国立国会図書館と連携しつつ、以下の内容を実施する。

- (1) 多様なウェブ情報の収集機能の開発・実証
- (2) ウェブ情報アーカイブの構造化及び大規模アーカイブの保存機能の開発・実証
- (3) ウェブアーカイブ間の連携・横断検索のための汎用的技術の開発・実証
- (4) ウェブ情報の収集・保存・検索するための汎用的なメタデータ等の確立



メタデータ: コンテンツを効率よく利用するために、コンテンツに対し付与される所在・内容・権利条件等の記述を含むデータ

【平成16年度予算額 255百万円、
平成17年度要求額 250百万円】